

花まるたより

2022.01



転んで強くなる

れからも緩むことなく精進してまいりますので、叱咤激励をお願いいたします。

年末に、朗報が届きました。リセマムを主宰する株式会社イーアの調査による「イーアアワード2021」にて、花まる学習会が「塾・顧客満足度 最優秀賞」を受賞したというのです。実は、ここ数年、なにそのアワードで全国一位でしたという報はいくつかいただいていてありがたかったのですが、調査範囲が狭かったり、それを公表するとなるとかなり高額のコストを請求されたりというので公開は控えていました。しかし、今回は二位以下に東西の錚々たる進学塾が並ぶなど、すべての塾の中で日本一ということに感慨もひとしおです。会員保護者のみなさまに共有しておきたいということで、発表することになりました。

創業して29年。ここまで来られたのは、開催を許してくださった幼稚園の園長先生方、選んで通ってくださったみなさま、サマースクールや雪国でスクラムを組んで子どもを受け入れてくださった宿の方など、かわわってくださった多くのみなさまのおかげです。一緒に頑張った社員たちとひととき喜びを分かち合いましたが、目を凝らせば、子どもがスクスク育つための最大関数である保護者全員の心に寄り添い切れたかと言え、まだまだ詰めるべき課題があります。こ

さて、雪国スクールでの一場面です。吹雪

のなかでリフトに乗っていると、小学2年生くらいの男の子が見えました。列の最後方を滑っていたその子は、転倒して、前を滑る仲間たちに遅れてしまったようでした。板を動かすのもまだ彼には重くて自在にはいかないようで、あれこれ寝たまま動かすのですが、うまくいきません。試行錯誤の末、何とか板が揃ったと思ったら、今度は立ち上がろうとしてはステンを繰り返しています。上から「おいー」と声をかけても、立ち上がることに夢中で聞こえないようです。かわいそうにという気持ちで見ているのですが、我々が真上を通り過ぎてしばらくしてから、何とか立ち上がり、しばし真後ろに滑ったあと、トンと向きを変え滑走していきました。

そこで思ったのは、これこそ成長の経験だなということです。大人としては、すぐに横に行つて「つかまりな」と言つて手を差しのべたくなりますが、外からの声も聞こえないほどの集中で、泣き言も言わず何とか自分のできる力で立ち上がったあの数分こそ、真剣に考え、試行し、工夫して壁を突破するとい

う、心と頭の確かな成長時間だったと思います。

時を同じくして、残念な知らせもありました。サマースクール「高濱先生と行く修学旅行」のキャンボジアにも熊本のコースにも参加してくれたHくん、ずっとラグビーを続けていて、高校三年生のこの秋ついに花園の切符を手に入れたのですが、本大会直前になって怪我で出場できなくなったのです。小学生の頃から花園に行くのが夢と言っていたし、強豪校でレギュラーになるだけでも大変な努力をしてきたのだらうし、お母さまに聞くと、平気な表情で朝起きてはくるのだが、夜中泣き通したことが明らかな腫れた目だということでした。

駆け付けようかと思つた試合をテレビで観ると、ベンチが映されたときに、最後方で少し悲しげな表情で試合を眺めるHくんがいました。気持ちを想像すると、こちらの胸が張り裂けそうでしたが、いまの彼にこそ、慰めではなく、「この辛さをよく覚えておけ。いまがまさに君の成長の機会だよ」と伝えてあげたいです。

何と言つても、厳しい練習に耐え予選を勝ち抜いて出場までこぎつけたことが、勲章で

新刊情報

『子どもを勉強好きに変える親の習慣』

高濱 正伸 著（永岡書店）



子どもを勉強好きに変えるには、生活や遊びが「学び」につながっていること、そして「知る」ことのおもしろさを、親が子どもと一緒に体験しながら、教えることが大切です。そうして学びの幅を広げることで、子どもは本質的な学習体験を得ることができ、次第に勉強が好きになっていきます。

本書では『『これどういう意味だっけ？』と親が辞書を引く』『1行だけでも日記を書く』など、すぐに始められる親の習慣を紹介しています。

『新版 ウイルスと人間』

山内一也 著（岩波科学ライブラリー）



『新版 ウイルスと人間』は、今後ずっと付き合わざるを得ないウイルスについて、基礎を学ぶのにちょうどよい1冊。ウイルスと人間の関係の歴史を俯瞰する座標軸を身につけ、冷静に「正しく恐れる」ことができるだろう。人類のはるか大先輩であるウイルスには、ある種の敬意も湧くし、興味を駆り立てられる。子どもに話せば「そうなの!？」となる豆知識も満載である。（高濱）

高濱の本棚

誇りにしてよいし、これほど辛い機会でも何を考え、どう心を収めるかは、一生の宝物になるよ、という事です。

同じような境遇の社会人を知っています。Sさんという男性ですが、彼は高校2年生のときにサッカーの全国大会に出場しながら、キャプテンで迎えた高3の本大会直前に靱帯の断裂で試合出場をふいにしてしまったのです。ベンチで見守ることになったのですが、その試練を経験した彼は、ゼロから興じた会社の大黒柱となり、グングン成長したのです。鍛錬と逆境経験で強くなった精神力で仕事でこそ大活躍をしたのです。

そもそもスポーツをやる意味は、その中で長い人生を生き抜くすべてを学べることではないでしょうか。プロになった人ですら、引退後の長い人生を考えると、同じだと思いません。体が鍛えられることはもちろん、レギュラーになれる・なれないとか、チームメイトとのぶつかり合いや共感の中で、心の強さを磨き上げられるのです。

数年前に「Most likely to succeed」というアメリカの高校のドキュメンタリー映画が、世界的に話題になったのですが、その価値は、芝居や機械の製作など、期間を決めたプロジェクトの中でこそ、高校生が成長するという新しい学校の在り方を提示したことでした。周りの絶賛の中で、私は観るなり「こ

れ、部活じゃないか」と思いました。その前後から、教育の世界では、PBL (problem based learning) が盛んに喧伝され流行語にもなりましたが、私はいつも「どこ見てんだ、日本には部活があるでしょうが」と思っていました。

私自身も、「熊本高校野球部を卒業しました」と言うくらい、野球漬けでした。部員が9人しかいないので、初心者なのにライトで8番で出られたり、2年生になると新1年生の経験組にあっさり位置を奪われたり、失意の中でも懸命に秋から冬の努力を積み重ねたら、春には球速がすぐアップしていて、レフトで一番打者時タリリーフピッチャーというポジションを得たりしました。労働として換算したらブラックどころではない、朝から晩まで鍛錬・鍛錬の日々でしたが、仕事人生になってからこそ、何度も「ああ、あのとき厳しい部活を選んで本当に良かったなあ」と感じます。

日本独自のPBL的財産である部活の良さは、本人が選んでいること、主体性・夢中・没頭・鍛錬があること、そして何より夢を抱いて頑張っているからこそ、挫折や敗北や失敗という、負の経験・逆境を真に自分事として経験できることです。本気だからこそ、そこで落ち込んだときの心を経験し、折り合いをつけ、前向きになっていく過程で、熱い内に打たれた鋼のように強靱な心を育んでいくでしょう。

もちろん、逆境も程度問題なのですが、前述のスキーマの転倒の少年の例のように、その年齢でちょうど適切な克服経験を積み重ねられるとよいですね。どんな時代になっても、嘆いたり他人のせいにしたたりせず、雨ならば雨なりに楽しんで生き抜いていけるたくましい大人になるでしょう。転んで起き上がるという貴重な経験に対し、ついさっさと助けあげてしまいたいと思うのは、親心ですが、だからこそわが子の将来のために何が大事なのかを、心掛けておかねばなりません。中には「転ばないよう先に手出し口出しをしてしまふ」文字通り転ばぬ先の杖を出してしまふ親御さんもいます。深い愛があればこそ、その落とし穴とも言えるのですが、ルソーは『エミール』の中で、このような親のかかわりを、将来の自立を想定したとき「最も残忍な行為」と喝破しています。

「転んで強くなる。子育ての要諦の一つだと思えます。」

花まる学習会 高濱 正伸

教育情報サイト「リセマム」が実施した塾の顧客満足度調査「イード・アワード2021」において、花まる学習会が「塾」部門の最優秀賞を受賞しました。

これもひとえに、子どもたちの存在と、日頃より力強く支えてくださっている保護者のみなさまのご支援とご厚情によるものと、心より感謝を申し上げます。

これからどのような時代が来ようとも、保護者のみなさまとともに子どもたちの成長を見守る場所であり続けられるよう、今後も歩んでまいります。

花まる学習会 代表 高濱正伸・スタッフ一同

花まる学習会からのお知らせ

【2020年度より在籍されている方の継続割引適用期間の終了について】

昨2020年度より花まる学習会に継続して在籍されている方には、今年度1年間に限り、毎月の授業料から税別1,500円(税込1,650円)の継続割引が適用されております。

お知らせしておりました通り、今年度が終了する2022年3月分をもちまして継続割引を終了させていただきますので、ご承知おきくださいますようお願いいたします。

なお、2022年度の料金につきましては、2022年2月末の教室ページにてお知らせする予定です。

花まるだより 2022年1月号

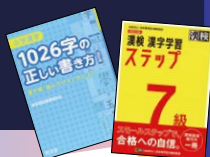
(令和4年1月15日発行)

編集・発行 株式会社こうゆう
花まる学習会
発行人 高濱 正伸
企画・編集 久慈 菜津紀
編集 金井 彩・清田 奈南
坂田 翔・高橋 奈穂
デザイン 春日 梨沙
印刷 アークランド株式会社

【小学1～6年生】花漢に向けて～漢字練習～



3学期 HITの時期が近づいています。
お配りする「受験級案内」で、新出範囲を確認し、計画的に練習を進めましょう。
『1026字の正しい書き方』に加え、出題形式の参考として、『漢検 漢字学習ステップ』（日本漢字能力検定協会）の活用もおすすめです。
「学校で習っていないから」ではなく、「いま覚えちゃおう」という気持ちで、新しい漢字との出会いを楽しんでほしいと思います。



練習方法の例

1～3年生向け

熟語で練習する。

上や下を隠して覚えているかチェックする。

覚える漢字を大きく書く。

読み

部首

くさかんむり

花

か か は は
び だ な な
ん ん み び

花 花 花 花
び だ 見 火
ん ん 花 花
花 花 見 火
び だ 花 花
ん ん 見 火

実際に使う熟語で読み書きの練習をします

テスト前には、「読み」や「書き」の部分を隠して、実際に覚えているか確認テストをするのもおすすめです。

漢字練習ノートは、広く見やすく

■「生活」と「遊び」のなかで

子どもがやる気になるのは、「生活」と「遊び」の空間にいるときです。

手作り漢字クイズやクイズの出し合いをしてみたり、うちの人検定などを開催したりするアイデアも。街を歩きながら「出合った漢字を読めるかクイズ」などを通じて、漢字に興味を持てるようなきっかけを盛り込んでみていいでしょう。

4～6年生向け

テストを意識した練習をしましょう

熟語を書くだけでなく、その例文も一つ書くようにします。漢字テストではたいいてい短文のなか書き取り部分があるという形で出題されます。どういう文章にその言葉を使うかという意識もしっかりと持って練習しましょう。

■書き取り問題

「書き取り問題」に取り組み、自分が書ける漢字、書けない漢字を確認しましょう。

■ノートに20個の熟語を練習する場合

- ① 5個ずつにわけて練習します。
- ② 1～5個目の書き取りを終えたら、5問テストを行います。
- ③ そこで確実に書き取りができたなら、次の5個へ。
間違えた場合は、間違えたものを練習します。
- ④ 6～10個目の漢字で、①～③を繰り返します。
10個目を終えたところで10問テストを行います。
- ⑤ 同様に11～15個でまた5問テストを行います。
- ⑥ 最後の20個目までいった後に、20問テストを行います。

正しい漢字を書く
漢字は「正しいかたち」を覚えることが大切。まず、見本を見ながら、正確に漢字を書く。

こまかく小テスト
5個練習が終わるごとに、見本と練習部分を隠してテスト。そのつど○×チェックをする。

見本を見ながら書く
練習は見本の細部を見ながら書く。声を出しながら手を動かすと記憶に残りやすい。

	15	14	13	12	11
	ダンゴ	カシホン	インタイ	インソツ	コウソク
	団子	貸本	引退	引率	校則
例	団子、団子、団子、団子、団子	貸本、貸本、貸本、貸本、貸本	引退、引退、引退、引退、引退	引率、引率、引率、引率、引率	校則、校則、校則、校則、校則
例	おやつに団子を食べる。	貸本をかりる。	引退、引退、引退、引退、引退	引率、引率、引率、引率、引率	校則、校則、校則、校則、校則
例	引率、引退、貸本、団子	引率、引退、貸本、団子	引率、引退、貸本、団子	引率、引退、貸本、団子	引率、引退、貸本、団子

※まいにち花まるのページから、ちからだし問題や書き取り問題などがダウンロードできます。ぜひご利用ください。

～高濱正伸が卒業生に贈る“最後の花まる授業”～



小学6年生のみなさんへ 卒業記念講演会

「13歳のキミへ～中学時代の過ごし方～」



「メシが食える、魅力的な大人になってほしい」
その想いを込めて、代表の高濱が子どもたちに向けて、
一人の大人としての本音を語ります。

「合わない、と言わない」

『『キライ』と言って楽をしない』

「異性を学ぶ」

「目の前の人がほほえむように」

教科書には書いていないこと。

けれども、「中学生になる前にこれだけは伝えたい」こと。

「外の師匠」として、高濱が子どもたちに本音で語ります。

開催日時

2022年3月6日(日)
10:30～12:00

視聴方法

YouTube「タカハマチャンネル」で生配信

※開催日が近づきましたら、2022年1月まで花まるグループに在籍していた
小学6年生のみなさんへ、視聴URLをメールでお知らせします。

中学生になるみなさんへ

小学校を卒業する前に、みなさんに伝えておきたいことがあります。

勉強への姿勢だけでなく、社会で生き抜くために必要な力や、自分を磨く方法、恋愛の極意…。

「外の師匠」の一人として、これだけは伝えたい“社会で生きる大人の本音”です。

将来、自立して自分の足で歩める大人になるために必要なことを、花まる学習会に通ったみなさんにだからこそ伝えます。一度きりの卒業記念講演会です。当日、ぜひ聴いてください。

花まる学習会 代表 高濱 正伸

花まるを卒業したあとも、イベントは盛りだくさん！

高校生リーダーになろう！

今度はリーダーとして、
子どもたちの挑戦を
サポート！



集まれ！
花まるっ子

卒業生イベント

当時の担当教室長と再会！

高濱正伸スペシャル講演
『卒業生のキミへ』



高校生リーダーの体験談や
イベントへの参加方法は
こちら▶





こんげっ

今月のレインボータイム

【しまえないピースは？】

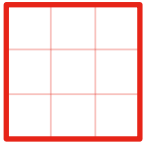
おな かたち はこ なか
同じ形のピースを何個か箱の中にしまします。ピースはまわしてもいいですが、
うらがえ はこ すきま かま
裏返してはいけません。箱に隙間ができて構いません。

さかた しょう はな がくしゅうかい
出題：坂田翔（花まる学習会）

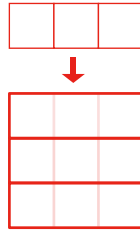
かいとう
解答は
こちら！



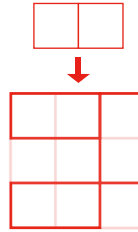
れい



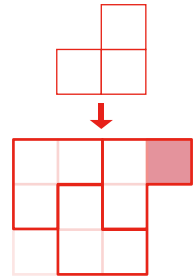
ひだり はこ
左の箱に
ピースを3つ
しま場合



しまえる



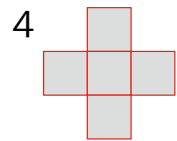
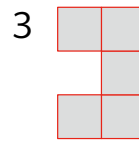
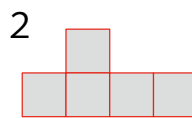
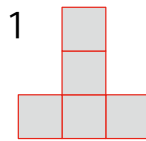
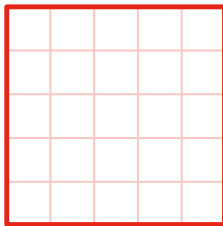
しまえる



しまえない

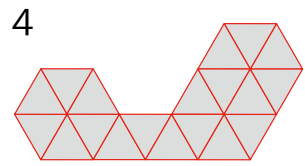
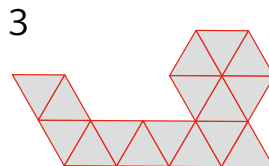
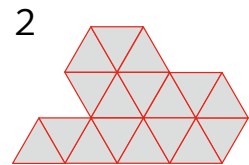
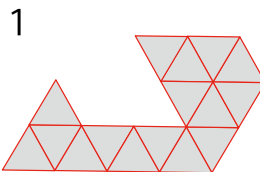
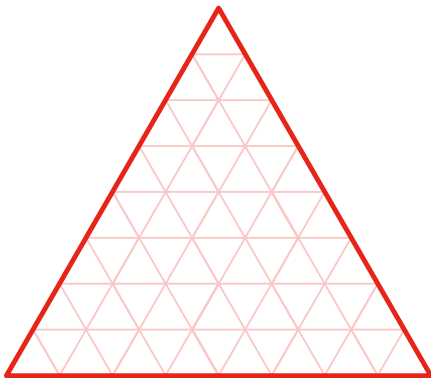
レベル30

1～4のうち、おな かたち ひだり はこ なか
同じ形を左の箱の中に4つしまえないのはどれ？



レベル99

1～4のうち、おな かたち ひだり はこ なか
同じ形を左の箱の中に3つしまえないのはどれ？



花まる リビング⑨

勝谷 里美

花まる学習会の教室長を担当しながら、花まる学習会や公立小学校向けの教材開発や、書籍出版に携わる。現在は、3児の母として子育てに奮闘中。著書に『東大脳ドリルこくご伝える力編』『東大脳ドリルかんじ初級』『東大脳ドリルさんすう初級』（学研プラス）ほか



自由でやわらかな判断

私事ですが、11月に第三子となる女の子を出産しました。下の子と5歳差ということもあり、久しぶりの新生児の登場に毎日・毎時間・毎分あたふたしていますが、長女、長男、それぞれが小さかった頃のことを思い出し、懐かしきもなる日々です。

そんな懐かしさとともに、三人目の出産を経て気づいたことがあります。

仕事の関係や、私の里帰り出産などいろいろな事情があり、意図したわけではないのですが、きょうだい三人とも、異なる県、異なる病院での出産でした。それにより「病院によって、人によって、『この場合はこうした方がいいよ』というのはいろいろあって、唯一の正解はないんだなあ」ということをまざまざと感じました。

たとえば、一人目は総合病院、自然分娩だったのですが、「母乳育児支援」のスローガンを強めに掲げる病院だったようで、いま思うと「割とスパルタ」な母乳指導でした。

二人目は、個人病院、帝王切開で出産。そこでも母乳育児を推奨していましたが、「困ったらミルクを使ってもよい」というスタンス。ただ、一人目で「母乳母乳!」と言われていたこともあった私は、「頑張って母乳をあげたほうがいいんだよね」とミルクは使わずに進めていたら、助産師さんから「あまり母乳を飲めていないのに、なんでミルクを使っているの!」と強めに言われて、「あれ...? 一人目のときとちがう...!」と戸惑ったのを覚えています。

そして三人目は、また別の総合病院。そこは「母乳はもちろん大切。ただ、一番大事なのは、お母さんが無理をしないこと。休むこと。辛かったら上手にミルクを使ってくださいね」というスタンス。ここまできて、私もようやく「あー、なるほど、正解はない! そのときの自分と子どもの状態を見極めて、自分がいいと思うことを選んでいけばいいのかな」という自分なりの答えにたどり着きました。

いま振り返ってみると、二人目は一人目よりも小さめに産まれたこともあり「母乳にこだわるのではなく、まずは栄養を確実にとることが大事!」という助産師さんの判断だったのかもしれない、とも思うのですが、当時はそんな意図もわからず、ただただ「言っていることがみんなちがう...何が正しいかわからない」ということがショックでした（産後で落ち込みやすい精神状態も影響していたと思います）。

子育てにおいて「言われたこと（助言やアドバイス）が矛盾している」というストレスは、多かれ少なかれ経験したことがある方が多いのではないかと思います。私は少し前にも「コロナで不要不急の外出は控えてください」という通知と「子どもにスマホやテレビを見させ過ぎないように。外遊びを推奨します」というおたよりが同時に来たときに、（いったいどうしろというのだろう...）と、途方に迷いました。

どちらも正論かもしれませんが、ただ、どち

らも同時進行しようとなると、すごく難しい。何に従ったらいいの? 育児書にも、SNSにも、きらきら素敵に見える正論がたくさんあふれている...

ここでもきつと結局は、家庭の軸となる部分を鑑みて「じゃあ、うちはどうするのか」という判断になるのでしょう。

その「家庭（自分）の判断」も一度決めたからそれで終わりというわけでもなく、目の前の子どもたちの状況、様子を見て、その時々で変わるものなのかもしれないと思います。子どもも変わるし、親も変わる。絶対にぶれない軸を一つだけもっておけば（たとえば毎日元気に楽しく生きる、といった抽象的な目標で、あとはその時々でやわらかく、自由に判断していければと思います）。

ちなみに、スパルタな母乳指導のもとで育った7歳の長女は、先日「赤ちゃん、母乳ばかりだと飽きちゃうから、クリスマスは特別に、液体ミルクをあげるといいと思う!」と張り切って提案してきました。子どもが大きくなるのはあつという間、というのは本当ですね。貴重な日々です。



『長くつ下のピッピ』

アストリッド・リンドグレン 作
桜井 誠 絵
大塚 勇三 訳
(岩波書店)

別の出版社からも出ていますが、私が子どものころに読んだのは岩波書店のもので、この絵に愛着があります。「自分で“やわらかく”判断する」「自由に判断する」というテーマを考えていたときに、ぱっと浮かんだのは、大人の“当たり前”にとらわれることなく自分の道を突き進む、ピッピの姿でした。久しく読んでないので、大人になったいま改めて読み直して、どう感じるかを楽しみたいと思います。

“職人”の無人島レポート

その10

開拓団受け入れに向けて、カトパンとともに無人島へ向かった“職人”こと、橋本。 “職人”による無人島レポートをお送りします。

岩樋さん再び、帰路、ここへ感じるもの(来島)

岩樋さんは、15時に島に到着した。約束の16時まで、まだ1時間ある。何かあったときのためにという、岩樋さんの配慮だろう。何というしつかり者。

まとめておいた荷物を次々と船に積み込む。すべてを積み終えると、今まで過ごしていた場所が、来る前と同じ荒野になった。整地したキャンプサイトだけが、滞在の跡を残している。1泊2日だったが、濃密な時間を過ごすことができた。またいつかここに来られるだろうか。

積み残しがないことを確認すると、船を海へ押し出しながら浅瀬を蹴り、一気に飛び乗った。エンジンが始動し、舵が北に切られる。岩樋さんが風向きを読んで、向かうべきルートを捉えた。行きよりも少し風が強く吹いている。振り返ると、航跡の向こうで島が次第に小さくなっていった。

安芸津港に入ると、速度を落として船を棧橋に寄せていく。そして、カトパンが最後の難関である係留に入った。車で言うところの、駐車である。しかし、係留は駐車よりもはるかに難しい。船にはブレーキがないので、前進と後進を組み合わせて停めなくてはならないからだ。お

まけに、海では波と風の力を受けて船が勝手に動いてしまう。そんな状況で繊細に操舵し、棧橋と船体をびたりと平行に合わせるには、高い技術がいるのだ。

カトパンが何度かチャレンジしたが、どうしてもあと少しのところで船がずれてしまう。しかし最後には、もはや師匠のオーラが出ている岩樋さんのおかげもあり、無事に船を係留することができた。船から車へ荷物の積み替えを終えると、そこで岩樋さんと別れた。別れ際に、マメな岩樋さんがまたお土産をくれた。もちろん2人分。いつかこの恩を返しに来ようと思う。

車に乗ると、荷物を降ろすためカトパン邸に向かった。到着すると、玄関の脇に大量の「置き配」が積み上がっていた。他に場所を借りているわけではないので、無人島の物資はすべて、カトパンの家に保管されている。まさに前線基地。毎日のように、追加の物資が届くのだ。それを物語るように、家の外には大量の開封済み段ボールが積み、回収日を待っていた。カトパンが置き配の荷物をすべて押し入れに収納してから、カトパンが車の荷物を降ろし、カトパンが調理器具の煤を洗い落としてくれたおかげで、私かもたもたと砂まみれのシューズを水で洗い終える頃には、ほぼすべての片づけが完了

していた。どうもすみません。その後、無人島での疲れを癒すため、我々は温泉に向かった。帰りは2回、道を逆に行った。

翌日、錆びたロボットのようにならないうで電車の発車時刻間際まで事務仕事をした後、カトパンに安芸津駅まで送ってもらうことになった。途中、時間がないにもかかわらず、近くの定食屋に寄って昼飯を食べた。さらに時間がギリギリになつて焦ったが、そのようにして我々は口には出さずに別れを惜しんでもいた。そしてそれは別にカトパンは今日も道を逆に行った。発車2分前のギリギリにロータリーに滑り込む。バックパックを担ぐと、別れの挨拶をしたようないないような慌ただしさで駅に入り、改札を抜けた。ホームへ走りながら思う。

「これから無人島に来る人たちも、いま私を感じているものを、感じるのだろうか？」

できるだけ多くの人たちに、知ってほしい。その日、その仲間と、その年齢で。1年先も、100年先も。そんなに先まで島はあるのか。それはまだわからない。わからないから、おもしろい。

電車が来る。ロータリーを見ると、すでに車はなかった。ありがとうカトパン。その先は左だ。

カトパン 加藤 崇彰

花まる学習会 無人島プロジェクト責任者。学生時代から、花まるの野外体験に深く関わってきた。現在は広島県へ移り住み、オンライン教室の教室長を務めながら、開拓団の受け入れや無人島開拓の準備を進めている。



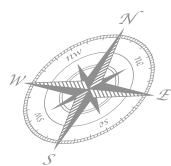
職人 橋本 一馬

花まる学習会神奈川ブロック教室長。前職が家具職人だった経歴から、「職人」のモデルネームを持つ。その経験を元に、野外体験「ものづくりの国」、オンライン工作教室など、独特なイベントを担当している。家具製作技能士、狩猟免許など、ちょっと変わった資格や経歴を活かし、「メンが食える大人」に独自の視点でアプローチを行うことが好き。今回、趣味のキャンプ経験を買われ、無人島開拓に喜んで参加した。



今どうしてる？

卒業生物語



花まる学習会・スクールFC卒業生のその後に迫る新企画！
第7弾は、高濱の講演会で事例として登場する、伝説の卒業生に
オンラインインタビュー！

ようこそ先輩！！



やまざき あやこ
山崎 絢子さん

【スクールFC】南浦和校（小学4年生～）・特算
・スーパー算数
【進路】埼玉大学教育学部附属中学校
→お茶の水女子大学附属高等学校
→筑波大学
【現在の職業】医師

高 今回のテーマは、そこなんだよ。ちゃんとこういうことをがんばれば道は開けるとい

う、あなたの人生は一番参考になるんです。

山 はははは(笑)テーマは「努力」ですね。

■スクールFCでの学びの日々

高 FCでは、特算に通って…スー算（スーパー算数）にも来てたっけ？

山 はい。そのまま中学部にも。

高 それで高校受験で、金字塔みたいな、FCの奇跡が起きたんだよ。

山 先生たちがすごく優しく、毎回の授業がアットホームな感じでした。みんなが積極的に発言して、疑問があればすぐに解決できたし、一人ひとりを見てくれてるっていう感じがよかったです。

高 スー算では厳しい問題があるなかで、周りの生徒はよくできたじゃん。いやじゃなかった？

山 小学6年生の最初ですよ。もう「やばい」と思いました(笑)

高 はははは(笑)

山 でも、やっていくと意外に「そんなにたいたことないじゃないか」って。

高 おー。復習をちゃんとやるなかで自信がついた。

山 そうですね。

高 復習を欠かさずに積み上げていくと、意外と構造はシンプルだったりするからね。

山 はい。

高 最初は答えへの道筋が浮かばないから「うわー」って思っただけ、演習を重ねると「たいたことないじゃない」となる、これ、名言だな。

■努力の裏には母のサポート

高 逃げたり諦めたりせずに、あなたはやれた。どういう育ちだったの？

山 母はすごく教育的でした。もちろん先生の講演会を聞いていたと思いますし、復習は絶対にするように言われました。復習しているのを見てくれたと思います。

高 お母さんが横についていてくれたんだね。

山 ずっと一緒にいたわけじゃないんですけど…テレビをつけずにいてくれて、リビングで勉強していました。

高 見張ってもらうってことは、意外と力ギかもしれないな。やっぱり、お母さんがえらいとしが言いようがない。

山 そうですね。

■卒業記念講演会で奮起

山 中学生になるときに高濱先生が卒業記念講演会をしてくれたじゃないですか。そこで中学生の勉強について聞いて…

高 いわゆる中間・期末っていうのは甘くないよ、みたいな。人生の分岐点になるからね。

山 それで「がんばらなきゃ」って思いまして。学校から帰ったら復習ノートを作ってた。学校から帰ったら復習ノートを作ってた。学校から帰ったら復習ノートを作ってた。

高 また、名言！「軌道に乗れば楽しい」これですよ。特に中学からの勉強はやったもの勝ちだからね。

山 あれはやったほうがいいですね。

高 あなたにとって、FCとは？

山 私を育ててくれた、土台をつくってくれた場所です。

高 そう、土台。やっぱりかみ合ってたんだな、母ちゃんの世界観と。いやー、これからも楽しみだな。目標に向かって頑張って！応援しています。

山 ありがとうございます！



家族のことや将来の夢などを、続きはぜひこちら！



読み聞かせはなぜ大切なのか？

私はよく、小学校高学年の中学受験コースの授業でも絵本の読み聞かせを行うことがあります。

たとえば、五味太郎さんによる『言葉図鑑』シリーズは、第1巻の「うごきのことば（動詞）」にはじまり、「かざることば」（形容詞や形容動詞）、「なまえのことば」（名詞）など、全10巻を読めば国文学の知識を楽しみながら身につけることができます。

また、レオ・レオニの『スイミー』は、倒置法や体言止めなど詩の表現技法がほぼすべて使われているため、一冊読めばかなりの学びになります。

しかし、そうした「学び」以上に、みんな何よりも読み聞かせそのものを楽しみにしているのです。

高学年ともなれば、当然『国語図鑑』や『スイミー』くらいの絵本は自分ひとりで読める力があります。それでも、「読んで！」と言ってくるのです。



読み聞かせで心がつながる

そんな姿を見ると、子どもたちは読み聞かせをとおして読む人との「心のつながり」を求めているのだと思います。たとえばひとりで読める本であるとしても、大人の生身の「声」で届けるからこそその意味があるのです。

長年にわたり福音館書店の会長を務めた松居直さんは、『絵本・ことばのよろこび』のなかで、特に就学前の子どもの場合、「絵本は大人が読んでやるもの」と言い切っています。

少なくとも子どもがひとりで読みできるまでは、大人の責任で本を選び、時間の許すかぎり読んであげる。そして、たとえばひとりで読めるようになって、一定以上は読み聞かせをするべきだということです。

子どもは「文字の文化」ではなく、「声の文化」に生きています。つまり、文字でなにかの情報を得るのではなく、他者の声を通して身のまわりの世界を認識していく段階にいます。

読み聞かせをくり返すことで、子どもたちは耳で聞いた言葉をもとに頭のなかでイメージを働かせ、さまざまなことを感じ取ることができます。

そして読み聞かせの一番の効用は、本を読んでいる人との心の結びつきが生まれ、子どもたち自身が「大人が自分のために時間を割いて本

を読んでもくれた」という満足感を得られるということ。

ぜひ子どもたちとたづぶり読み聞かせの時間を持ち、さまざまな「心のつながり」を感じてみてください。

『絵本・ことばのよろこび』松居直 著／日本キリスト教団出版局

『言葉図鑑』シリーズ

五味 太郎 監修・制作
(偕成社)



①うごきのことば



④かざることば(A)



⑩なまえのことば

『スイミー』

一ちいさなかしこい
さかなのはなし』



レオ・レオニ 著
谷川 俊太郎 翻訳
(好学社)

『子どもを本好きにする10の秘訣』

平沼 純・高濱 正伸 著 (実務教育出版)



平沼 純(スクールFC)

教育心理学を研究し、「自分の視点を持って考え、力強く生きていく力の育成」を目指して教育の世界へ。国語を専門とする学習塾で読書・作文指導などに携わったあと、花まるグループに入社。現在、小学生から中学生までの国語授業や公立一貫コース授業のほか、総合的な学習の時間である「合科授業」などを担当。多数の受験生を合格へ導くとともに、豊かな物語世界の楽しさ、奥深さを味わえる授業を展開し続けている。





ひらぬま
じゅん
の



Welcome to Edo!
～江戸の情景～

Vol.31



『若冲
ぞうと出会った少年』

黒田 志保子 著
(国土社)

京の青物問屋の長男として生まれたものの、幼いころから絵が好きだった忠兵衛。享保13年、徳川吉宗の希望で日本に運ばれてきた象を見なくなった忠兵衛は……。江戸中期の絵師・伊藤若冲の若き日を描いた児童書。『象と鯨図屏風』や『樹花鳥獣図屏風』など、若冲の作品を見てから読むとおもしろさが増します。



『すし食いねえ』

吉橋 通夫 著
佐藤 真紀子 絵
(講談社)

屋台すし屋の一人息子である豆吉は、有名店の娘おきょうとともに、ひょんなことからある若侍の窮状を救うことに……。活気あふれる江戸の町を背景に、市井の人々の人情、握り寿司誕生の秘話が描かれます。当時はマグロが「猫またぎ」と呼ばれていたなど、随所に豆知識も盛りだくさん。巻末の「握り寿司年表」も魅力的。



『算数少女』

遠藤 寛子 著
(筑摩書房)

父から算数の手ほどきを受けていた町娘のあき。ある日、あきは奉納されていた「算額」に誤りを見つけたことで、思わぬ出来事に巻き込まれます……。安永4(1775)年に刊行された実在の和算書『算数少女』をもとに創作された異色の歴史物語。江戸期の日本がいかに「算数大国」であったかも伝わる魅力的な一冊。



『絵本 江戸のまち』

太田 大輔 作
(講談社)

ページを開くだけでまるで江戸時代にタイムスリップしたかのような気分が味わえる、「江戸絵本」の一冊。墨田川、日本橋、品川宿、浅草……。見開きいっぱいに描かれた江戸の各所の情景と、緻密に描きこまれた人々の暮らしが何とも魅力的。続編の『江戸のたび』、『江戸のくらし』もあわせておすすめです。



『うごく浮世絵!?'』

よぐち たかお 作
アーサー・ビナード 英文
(福音館書店)

時代や国境を越えてたくさんの人にインスピレーションを与えてきた日本の浮世絵。そんな世界に誇る浮世絵の名作が、マジックフィルムを使った「動く絵本」として新たな命を吹きこまれました。縦横に動き出す、北斎や写楽、英泉らの浮世絵たち……。英語のテキストつきなので、海外へのお土産にしてもいいかも。

全国から
参加可能!



■講座情報

2月はお休みです

次回は… 3月 (第10回) 子どもの未来「これまで」と「これから」

時代とともに変わっていくものと、決して変わらないもの。1年間の講座の締めくくりとして最新の児童書を紹介しながら、改めて子どもの本の未来、物語に触れる喜びについて語ります。

3/17 (木)・3/19 (土) 10:30～11:50

参加費 一家族 500円 (税込)

申込締切 開催前日の19:00

<https://www.schoolfc.jp/extension/j-hiranuma/2021/>



小学生のころに出合った『ハリー・ポッター』(J.K.ローリング 著/静山社)。魔法世界の魅力に憑りつかれ、呪文集を作ったり、校門を駅に見立てて「ホグワーツ特急に遅れちゃう!」と魔法使いごっこをしたりしては、「ホグワーツに入学したら」と想像していました。裏表のある登場人物が大好きです。一白坂海路(サイクル)



アントン・ブルックナー

1824-1896 オーストリア

アノネ Lounge

vol.30

ラウンジ

アノネ音楽教室の作曲家の人生を辿る伝記教材『おべら』の一部をご紹介します！クラシック音楽の作曲家を毎回一人取り上げて、名曲が生まれたストーリーに迫ります！



ブルックナー

1 時間を超える長い曲を、何年もかけて書き上げ、完成した後も何度も書き直していた作曲家がいます。アントン・ブルックナー。少し不器用な、こだわりの作品を残した作曲家です。

ブルックナーに最初に音楽を教えてくれたのはお父さんでした。学校の先生をしながら教会のオルガン弾きもしていた人です。しかし、寝る間も惜しんで働いていたお父さんは、ブルックナーが13歳のときに亡くなってしまいます。お父さんの葬式の後、ブルックナーとお母さんは4時間以上も夜道を歩いて、合唱隊の子どもたちが暮らす修道院へ行きました。「わが家は貧しくてこの子の才能を伸ばしてあげられません。どうかここで生活させてやってください」

院長のアルネート先生は、お母さんの頼みを聞き入れました。こうしてブルックナーは、修道院で3年間を過ごすのです。16歳になったとき、アルネート先生が将来の夢を尋ねると、ブルックナーはこう言いました。

「お父さんのようになりたい」

その5年後、ブルックナーは、勉強と音楽を子どもたちに教える先生になっていました。オルガンを練習して、教会のオルガニストにもなりました。さらに、この頃から、神様に捧げる曲を自分で作り始めます。

「もっと曲作りを学んで、壮大な曲を作りたい！」

そう考えたブルックナーは30歳頃からさらに本格的な音楽の勉強を始め、たくさん曲を書いて腕を磨きました。43歳のとき、ウィーンの街で音楽大学の先生として働くことになったブルックナーは、交響曲の作曲に取り掛かります。交響曲は、たくさんの楽器からなるオーケストラで演奏される長い曲。作曲には実力と時間が必要です。ブルックナーは、先生として働きながら徐々に交響曲を書いていきました。(伝記教材『おべら』より抜粋)

『交響曲第4番 変ホ長調《ロマンティック》』 WAB104 (1873-1874年)

交響曲を作っても世間からなかなか評価されないブルックナーでしたが、交響曲の作曲家になりたいという夢は捨てませんでした。次の『交響曲第4番』の作曲のときには、知り合いの音楽家にアドバイスをもらいながら、書いては直しを繰り返します。6年もの時間をかけて完成したこの曲は、ブルックナーが57歳のときに発表され、大成功を収めます。

大学で最後の授業をしたときには、こんなことを言っています。
「私には、あなたたち生徒と作曲した曲以外には何も残っていません。みなさん、私がいなくなったらその二つ、私の残された子どもたちを受け入れてください」

ブルックナーは、誰にも真似できないような壮大な交響曲を作り、次の時代の音楽家を育てました。

編集：鈴木 有美 (アノネ音楽教室)

<https://www.youtube.com/playlist?list=PL7kd0pC6w0ucOxb6xRttYKplsuzalWxRO>

とんねるずの「一番偉い人へ」「情けねえ」。中学生のころから、いまでも聞き続けている曲です。真っすぐな歌詞と力強い歌声が好きで、悩んだときにはこの曲を聞いて「よし！」と気合いを入れ直しています。高校受験や大学受験の道中は、ずっとこの曲を口ずさみながら向かっていました。—小川凌太 (コメディ)

ロマンティックを
聴いてみよう



おうちでできる 花まるメソッド

子ども時代の記憶

「教える」ということを仕事にしていると、愛情だけでやることはこの世界にはないなと感じます。子どもたちに、一人で生きていく力をつけさせるために、彼らの世界と生をよく知っていて、さらに育てる技術をきちんと持っていないと、はならない、一個の職業人でなければならない。目の前にいるのは小さな人たちですが、ただ年齢が小さいからここにいてだけで、子どものほうが劣っている、というわけではないのです。むしろ、「この人たちは、自分をはるかに超えて、未来を創っていく人なんだ」という敬意を持って、子どもという宝物に接していく気持ちです。

高いものにあがれ、自分を成長させよう、前進させようという気持ちに願ひ、伸びよう、伸びたいと思っている彼らのそのセンサーは、まっすぐに目の前にいる大人をとらえ、その人の中の「伸びよう」という気持ちに反応します。

初々しい感動、新しい命のようなものが、その人の中にあると、子どもたちはひきつけられるのです。彼らの世界の間であるかどうか、よりよい自分を目指しているかどうか、がいつも問われる。

同級生に知的障がいのある男の子がいました。ほとんど喋らず、周りのことをじっと見ている超がつく引込み思考だった当時の私は、彼が何をしているのか、声はかけませんがいつも注意深く観察していました。

年長になったある日のこと。担任の先生がある出来事を、彼のやったことだと判断しました。ほかの先生と話すその内容を聴いていた私は、「それはちがう」と思いました。私は、見ていたから

です。事実は違っていたことを、証明できるのは私だけかもしれない。ただ泣いている彼。もしかしたら、私だけが真実を伝えられるのかもしれない。生まれてはじめて、正義感のような何かに突き動かされた瞬間でした。

「ありがと、うれしい。あなたが言ってくれなかったら、彼にもっと苦しい思いをさせていたと思う」

意を決して先生に伝えたとき、そうやって言葉にして私に伝えてくださったことは、原点のひとつとして私の中に刻み込まれました。

大人と子どもであるということ以前に、一個の人間として目の前の人を尊重する姿勢を、先生の姿に見たのです。それは、子どもである私と、そのとき傷ついていた彼に、大人に信頼されることの喜びを与えました。正しいと思うことを信じる勇気も。

人間は、小さなころから実はそんなに変わらないものです。自分がもともと持っていた、一見意味をなさないうちに思える子ども時代の感覚は、実は、人生を進むために最も重要なコンパスなのです。だから大人になったらその後は、いかに自分だけの子ども時代の感覚を取り戻し、本来の自分を知っているかが大切なのでしょう。

いろいろな価値観から自由でないとその人本来の姿にはなれませんが、人がその人自身になることを極めていくと、必ず人の役に立つことができるのです。そして、そこそが、自立している一個の人間ということでしょう。

2022年も、教育について真摯に向き合う集団でありたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

Rin (井岡由実)

2月のオンライン Atelier for KIDs

2月 プラバンサンキャッチャー

対象 2022年1月までにAtelier for KIDsに1回以上参加経験のある年長～中学生とそのご家族
※お申し込みいただいた方は全員ご参加いただけます。

参加費 1名3,600円(税込・材料郵送費込)
※2名以上ご参加希望の場合、1名追加につきプラス600円

申込締切 2/2(水)19:00

<https://www.hanamarugroup.jp/art-edu/news.php>



Rin (井岡 由実)

花まる学習会取締役、「ARTのとびら」主宰。児童精神科医の稲垣孝氏とともに、心を病んだ青年たちへの専門的な対応に専心。花まる学習会年中・年長向け教材開発に携わり、冊子『1年生になる前に』では、幼児期に伸ばしたい能力や感性の教育について論じる。著書に『こころと頭を同時に伸ばす AI時代の子育て』(実務教育出版)ほか。



2月のインスタライブは
2/18(金)開催!



※ARTのとびら公式YouTubeでは、Rinコラムを音声で聞けたり、保護者の方からの相談に答えたりする「アトリエ RADIO」、工作好きな子どもたちのおうちARTを応援する「Rin先生が作ってみたいよ」シリーズなど、盛りだくさんです。

はな きょうしつちやう しょうかい
花まるの教室長を紹介します！

花まるファミリー

FC …スクールFC

…アノネ音楽教室

アルゴ …アルゴクラブ

…オンライン

…無人島

GONOU …GONOU 囲碁教室

きょうしつちやう じゅんぱん しょうかい
みんなの教室長も順番に紹介するよ。お楽しみに！



リーダーネーム



サマースクールや雪国スクールで会おうね！

1月の誕生花は シンビジウム

子どものころはおとなしく、目立つ子にうつっているような子でした。注目されるのが恥ずかしくて、カメラを向けられるとビタッと止まってしまうほど。小学3年生のときに仲がよかった友達が積極的に手を挙げるタイプで、その子に憧れて教室で初めて手を挙げた体験をいまでも覚えています。—佐々木沙莉（しおりん）

泣き虫みーちゃん

長女。優しい。しっかりしている。
けれど、いざというときに自分の意見
が言えない。そして甘え下手。
そんなみーちゃんと私の、8年間の
物語。

— 年中 —

思考実験になった途端、「やったー！
えのぐだ！」と席を立ち、みんな一目
散に走っていきます。みーちゃんは全
員が立ち上がったことを見届けたのち、
すべての椅子をきちんとしまってから
こちらへ。優しい、みんなのお姉さん。
「ぼくも見たー！わたしも！」そんな押
し合いにも決して入って行くことはな
く、最後尾のほううじて見えるかなと
いうポジションを見つけ、そこからじつ
と様子を見ていました。みーちゃんに
も聞こえるように、いつもより少しば
かり説明の声を大きくしながら、なん
とももどかしかった私の気持ち。

— 年長 —

毎週の花まるを誰よりも楽しみにし
ていたみーちゃん。教室が見えると、
毎回全力で走ってきます。周りの世話
を焼くお姉さんっぷりは変わらず。少
しずつ自信もついてきたようで、手を
挙げて発表する機会も増えました。そ

んなみーちゃんが、ある日暗い顔をし
て教室に。どうしたのかと聞くと、「か
わいいかつこうをやっていったのに、よ
うちえんでだれにも言われなかった…」
とシュン。うまく言えなかったか…と、
私もシュン。その後、教室でたっぷり
と髪飾りのことをほめられて、帰りに
お母さんを見つけての第一声は「ふふ
ん、今日もほめられたよ」もうすつ
かり女の子です。

— 1年生 —

国語大会でリーダーになりました。さ
らに MVP に輝きました。驚いた様子
のみーちゃん。「おめでとう！」の声に
も、はにかんで下を向くだけでした。翌
週の授業で突然、みーちゃんが「MVP
のこと、作文に書いていい？」と聞いて
きました。書いた作文は「MVPをとっ
たこと、うれしくてずっとかんがえて
いました。」ちよつと自分を出せるよう
になったのだと、嬉しくなりました。

— 2年生 —

少しずつ素が出るようになりました。
自分自身で「こうしたい！」というこ
だわりや気持ちが出てきて、私にも少
し口ごたえをするようになりました。
ほめられたことに對しても、首を横に
振るようになりました。自我が芽生え、
「実は私はこうしたい」という気持ち

出てきた証ではあるのですが…。意固
地になって融通のきかない様子に、親
としてはさらにイライラが募る。そん
な悪循環の時期でした。

けれど、「みんなのお姉さん」だった
ことだけは変わらず。初めて花まるに
来た子が隣に座ると、自分のことはほっ
たらかして一生懸命にお世話をします。
少し教室に早く来ては、年中クラスの
片付けを手伝います。年中の子に「お
ねえちゃん」と呼ばれ、「はい！」と
嬉しそう。ちよつとこの頃、お母さま

より「引ッ込みがちだったわが子が、自
分から代表になり大勢の前で発表でき
るようになった」という報告がありま
した。なんと運動会では、「代表の言葉」
を立派にやり遂げたそうです。感動し
て涙が出ました。

— 4年生 —

受験部門のスクールFCへ異動した
みーちゃんに、久しぶりに会いに行き
ました。涙涙のお別れをして以来の再
会。びっくりする姿を思い描いていた
ら、「やめて見ないで」想像以上の冷た
い反応…。

— 6年生 —

出会ってから8年。スクールFCの
スタッフがつないでくれたZoomの
画面上で、受験会場に向かうみーちゃん

んの姿を見ました。大きくなったなあ。
立派になったなあ。そんなことを考え
ていたら、画面の向こうのみーちゃん
は、私たちの姿を見て大号泣でした。
見た目は大きくなって、立派な6年生
だけれども…。どこか脆くて繊細で、
そして泣き虫。私には、幼いころのみー
ちゃんの姿が重なって見えました。

いつも彼女に伝えていたことがあり
ます。

それは「あらゆることにおいて、ほ
められるためではなく、自分のために、
人のために努力できるのがみーちゃん
だ」ということ。実はこれが、1年生の
ときに MVP に選んだ理由でした。

そんな彼女の行く末が、多くの光に照
らされますように。あの頃、小さな手を
握りしめながら何度も伝えた魔法の言
葉を、みーちゃんの心に届けます。

「大丈夫。みーちゃんならできる。」

花まる学習会 北澤優太





部位によって味わいが変わる楽しい野菜



寒い季節に出番の多いメニュー、鍋料理。準備が簡単なうえに、野菜がたっぷりとれ、いろいろな素材を食べられるので栄養的にもとてもいいですね。わが家では、困ったときの鍋料理です。

鍋料理に必ずと言っていいくらい登場するのが白菜ではないでしょうか。くせもなくボリュームも出るので、どんな鍋料理とも組み合わせできます。白菜＝鍋のイメージが強くなりがちですが、実はいろいろな使い方を楽しめます。

鍋料理以外で私がよく作るのはサラダです。気温が下がって甘味の増した白菜は、生で食べるとシャキシャキと噛み応えもよく、ドレッシングもよく絡むので食べ応えもあってダイエット中にもおすすめです。縦半分に切ってから斜め細切りにして、サラダにしてみてください。

そして、塩と柚子の皮の千切り、生姜の千切りと作る浅漬け。白い肉厚の下部分はそぎ切りにして中華スープや中華風の炒めものにするとトロリと柔らかくなって甘味が強くなります。

あとは、さっと蒸し煮にして、辛子醤油で和えたり、半日天日干しにしてからキムチを作ったり…大きな白菜があつという間になくなっていきますよ。

柔らかい葉の部分はサラダ、お味噌汁、浅漬けに、白い肉厚の部分は斜めに細切りやそぎ切りにしてスープや炒めものに。大きな野菜ならではの、部位による味や食感の違いを子どもたちと一緒に食べ比べてみてくださいね。



食のプロからのアドバイス

白菜と鯖缶のさっと煮

おうちでチャレンジ！

材料

白菜の葉の部分…150g

さばの缶詰…1缶

水…50cc

生姜の千切り…1かけ分

酢…大さじ1

醤油…大さじ1

骨ごと食べられる栄養満点の鯖缶と白菜の組み合わせ。簡単なのにうま味たっぷりです。鯖缶をツナ缶に変えて同じように作ってもおいしいですよ。

①鍋に野菜とさばの缶詰を入れて蓋をしたら8～10分蒸し煮にする。

②仕上げに酢と醤油を回しかけて、まんべんなく混ぜる。